

## 第 26 回日本分科医会代表者会議を開催しました

会長 清原久和

9月17日、第26回日本分科医会代表者会議を、当番医会である日本臨床泌尿器科医会がオンラインで開催しました。日本眼科医会、日本臨床耳鼻科医会、日本臨床内科医会、日本臨床整形外科学会、日本臨床外科学会、日本産婦人科医会、日本小児科医会、日本精神神経科診療所協会、日本臨床脳神経外科協会、日本臨床皮膚科医会、日本放射線科専門医会・医会の11団体から会長、副会長など役員の方々22名、当会より私、斎藤、山口、正井副会長、佐藤、秋山常任理事、岩佐専務理事の7名が参加しました。ご意見を伺うため、日本医師会常任理事の羽鳥 裕先生、参議院議員の自見はなこ先生にも御参加頂きました。自見先生には「子ども庁の創設」、「リユースの欠品問題」についてお話し頂きました。

私が開会の挨拶をした後、羽鳥先生に日本医師会からのご挨拶を頂き、その後の議事進行は斎藤副会長が進めました。

席者の自己紹介ののち、事前に4つの医会、1つの学会より提出された15の議題について発表、質疑応答が行われました。

各診療科が共有するテーマは、男女共同参画、働き方改革、新型コロナウイルス感染症拡大による医療経営に対する影響と次期診療報酬改定、オンライン診療に関する将来像、ジェネリック医薬品の安全性、医薬品の安定供給、医療類似行為の問題などでした。

約3時間の会議ののち、当会の正井副会長が閉会の挨拶を述べ会議を終了しました。